

おはなし給食

きゅうしょく



つき かい ほん なか どうじょう りょうり
月に1回、本の中に登場する料理を
きゅうしょく ていきょう
給食で提供します。

「14ひきのおつきみ」より

9/9 つきみだんご



つきみだんご さといも のうさくぶつ しゅうかく かんしゃ
月見団子は、里芋などの農作物の収穫に感謝し、
つきみ そな だんご
お月見のときにお供えをする団子のことです。
きゅうしょく つく あま あじ
給食では、さとうやしょうゆなどから作った甘からい味
だんご
のたれをかけた団子がでます。

つきみ
お月見は「たぬきのおつきみ(内田麟太郎)」「まんまるいけの
おつきみ(かとうまふみ)」「おつきみうさぎ(中川ひろたか)」な
ど、いろいろな本にもでてきます。



「14ひきのおつきみ」

いわむら かずお 作・絵
どうしんしゃ
童心社

～どんなおはなし?～

14ひきのねずみの家族が住んでいるのは木の根っこ。そこ
からお月見をしようとしても、木の葉っぱが邪魔をしてよく見え
ません。そこである方法を思いつきます。さて、ねずみの家族
は、無事にお月見ができたのでしょうか。

つきみ お月見 じゅうごや (十五夜)

あき よる うつくし つきをなが
秋の夜に美しい月をなが
めながら、農作物の収穫に
かんしゃ ぎょうじ
感謝する行事です。



むかし こよみ がつ あき とく あき ま
昔の暦では、7～9月を秋としていました。特に秋の真ん
なか きゅうれき がつ にち じゅうごや ちゅうしゅう めいげつ
中である旧暦8月15日のことを「十五夜」や「中秋の名月」
とよび、いちねん いちばん つき み ひ
とよび、一年で一番きれいに月が見える日とされてきました。
この日に、すすき、つきみだんご さといも しゅん やさい くだもの
この日に、すすき、月見団子、里芋、旬の野菜や果物などを
お供えしてお月見をします。今年の十五夜は9月10日です。